



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社
 コード番号 4963 URL http://www.seikopmc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡 真 TEL 03-6202-7331
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	18,178	△0.9	1,765	92.6	1,667	76.7	1,365	68.3
27年12月期第3四半期	18,351	4.5	916	358.1	943	219.1	811	ー

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 1,305百万円 (67.8%) 27年12月期第3四半期 778百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	45.04	ー
27年12月期第3四半期	26.76	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	28,939	21,108	72.9
27年12月期	28,931	20,394	69.7

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 21,108百万円 27年12月期 20,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	ー	6.00	ー	6.00	12.00
28年12月期	ー	6.00	ー		
28年12月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,090	△2.0	1,960	48.7	1,890	41.5	1,500	39.8	49.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	30,743,604株	27年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	421,868株	27年12月期	421,798株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	30,321,782株	27年12月期3Q	30,321,818株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や輸出が伸び悩む中で、新興国経済の減速、円高などもあり、緩やかな景気回復に足踏みがみられ、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要販売先である製紙業界、印刷インキ業界におきましては、総じて需要が伸び悩むなど、不透明な経営環境が続きました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努めましたが、販売価格の低下もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,178百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

利益面では、コスト削減・合理化の進捗に加え、化成品事業、及び中国事業の製紙用薬品の売上が順調に推移した結果、営業利益は1,765百万円（前年同期比92.6%増）、経常利益は1,667百万円（前年同期比76.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,365百万円（前年同期比68.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,961万トンと前年同期比0.3%の増加でありました。需要が伸び悩む中、当社グループは、国内市場、中国市場へ差別化商品の売上増加に努めましたが、販売価格の低下もあり、当事業の売上高は、11,546百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

利益面では、コスト削減・合理化に加え、中国事業の売上が順調に推移したことから、セグメント利益は1,455百万円（前年同期比65.2%増）となりました。

・印刷インキ用・記録材料用樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は25万6千トンと前年同期比0.8%の増加でありました。需要が伸び悩む中、当社グループにおいては、オフセットインキ用樹脂、記録材料用樹脂の売上高がそれぞれ減少し、水性インキ用樹脂の売上高は前年を上回りました。その結果、当事業の売上高は、3,865百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

利益面では、コスト削減・合理化により、セグメント利益は245百万円（前年同期比64.8%増）となりました。

・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出が順調に推移したことにより2,766百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

利益面では、売上増加及びコスト削減・合理化により、セグメント利益は367百万円（前年同期比62.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

短期貸付金の増加、現金及び預金の増加、及び、受取手形及び売掛金の減少により流動資産は18,709百万円（前連結会計年度末比266百万円増）となりました。

(固定資産)

有形固定資産の取得が減価償却を下回ったこと及び投資その他の資産の減少により固定資産は10,230百万円（前連結会計年度末比258百万円減）となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金の減少、賞与引当金の減少、及び、その他の流動負債の増加により流動負債は6,778百万円（前連結会計年度末比359百万円減）となりました。

(固定負債)

退職給付に係る負債の減少により固定負債は1,052百万円（前連結会計年度末比346百万円減）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当、及び非支配株主持分の減少により純資産は21,108百万円(前連結会計年度末比714百万円増)となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.9%となりました。また、有利子負債残高1,030百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.05倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月8日公表の業績予想に修正はありません。通期の業績見通しにつきましては、売上高は前期比2.0%減の24,090百万円、営業利益は同48.7%増の1,960百万円、経常利益は同41.5%増の1,890百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同39.8%増の1,500百万円を見込んでおります。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正に伴う会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817,753	1,451,759
受取手形及び売掛金	10,267,533	9,118,207
電子記録債権	595,636	512,201
商品及び製品	2,152,492	2,024,068
仕掛品	357,686	384,050
原材料及び貯蔵品	1,072,026	863,582
短期貸付金	2,711,485	3,765,991
その他	472,954	598,212
貸倒引当金	△4,742	△8,742
流動資産合計	18,442,826	18,709,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,503,352	2,476,943
機械装置及び運搬具(純額)	1,769,153	1,683,179
土地	4,472,035	4,472,035
その他(純額)	319,489	308,646
有形固定資産合計	9,064,031	8,940,805
無形固定資産	108,091	95,497
投資その他の資産		
その他	1,364,498	1,241,799
貸倒引当金	△47,697	△47,661
投資その他の資産合計	1,316,801	1,194,137
固定資産合計	10,488,924	10,230,440
資産合計	28,931,751	28,939,772

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,709,058	3,154,084
短期借入金	1,100,000	1,030,000
未払法人税等	330,292	297,241
賞与引当金	497,467	310,632
その他の引当金	—	30,532
その他	1,501,145	1,956,291
流動負債合計	7,137,964	6,778,781
固定負債		
役員退職慰労引当金	15,925	15,925
退職給付に係る負債	1,018,421	772,495
資産除去債務	83,223	84,082
繰延税金負債	221,343	163,620
その他	60,467	16,269
固定負債合計	1,399,380	1,052,391
負債合計	8,537,344	7,831,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,566,178
利益剰余金	16,826,614	17,828,343
自己株式	△104,754	△104,834
株主資本合計	20,288,039	21,289,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361,794	322,786
繰延ヘッジ損益	△2,112	△692
為替換算調整勘定	128,825	56,502
退職給付に係る調整累計額	△609,963	△559,684
その他の包括利益累計額合計	△121,455	△181,088
非支配株主持分	227,822	—
純資産合計	20,394,406	21,108,599
負債純資産合計	28,931,751	28,939,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	18,351,683	18,178,317
売上原価	14,141,163	13,142,482
売上総利益	4,210,520	5,035,835
販売費及び一般管理費	3,293,675	3,269,922
営業利益	916,844	1,765,913
営業外収益		
受取利息	11,218	7,793
受取配当金	12,117	15,883
仕入割引	11,805	10,616
受取保険金	—	39,679
その他	27,375	35,186
営業外収益合計	62,516	109,159
営業外費用		
支払利息	3,623	3,054
売上割引	4,419	4,012
為替差損	24,620	189,130
その他	3,229	11,842
営業外費用合計	35,892	208,040
経常利益	943,468	1,667,032
特別利益		
固定資産売却益	329	513
負ののれん発生益	—	77,822
投資有価証券売却益	3,314	29,031
国庫補助金	254,807	—
固定資産受贈益	97,500	—
特別利益合計	355,951	107,366
特別損失		
固定資産売却損	1,212	—
固定資産除却損	3,509	8,502
固定資産圧縮損	167,629	—
特別損失合計	172,351	8,502
税金等調整前四半期純利益	1,127,068	1,765,896
法人税、住民税及び事業税	385,797	481,219
法人税等調整額	△94,598	△80,912
法人税等合計	291,198	400,306
四半期純利益	835,869	1,365,589
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,328	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	811,541	1,365,589

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	835,869	1,365,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83,834	△39,008
繰延ヘッジ損益	△6,962	1,420
為替換算調整勘定	△4,742	△72,322
退職給付に係る調整額	37,783	50,278
その他の包括利益合計	△57,754	△59,632
四半期包括利益	778,115	1,305,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	753,786	1,305,957
非支配株主に係る四半期包括利益	24,328	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	11,741,868	4,023,832	2,585,982	18,351,683	—	18,351,683
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	38,752	446,376	8,614	493,744	△493,744	—
計	11,780,620	4,470,209	2,594,597	18,845,428	△493,744	18,351,683
セグメント利益	880,990	148,697	226,237	1,255,925	△339,081	916,844

(注) 1. 売上高の調整額△493,744千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△339,081千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	11,546,841	3,865,105	2,766,371	18,178,317	—	18,178,317
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	38,555	456,880	7,721	503,156	△503,156	—
計	11,585,396	4,321,985	2,774,092	18,681,474	△503,156	18,178,317
セグメント利益	1,455,151	245,095	367,226	2,067,473	△301,560	1,765,913

(注) 1. 売上高の調整額△503,156千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△301,560千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。